

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年11月16日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(B)において、渦流探傷検査により4180本の伝熱管のうち19本の伝熱管の減肉率が50%を超えていることが認められたため、当該伝熱管の閉止を実施。 なお、当該熱交換器の伝熱管の閉止許容数は204本であり、今回の19本を閉止しても合計43本の伝熱管閉止となることから、当該熱交換器の熱交換性能に影響はない。	GⅢ	11月14日
2	3・4号廃棄物処理設備	プラスチック固化装置運転状態確認検査のうち、機能・性能検査において、混合器に粉体を投入する工程の際に、計量ホッパー粉体重量計の指示値がマイナス表示になったことが認められたため、原因調査・対策検討。	GⅢ	11月11日
3	3・4号廃棄物処理設備	高電導度廃液系サンプ(C)ポンプ(F)出口逆止弁(G11-F221F)において、固着による動作不良が認められたため、当該出口逆止弁を点検・修理。 なお、高電導度廃液系サンプ(C)ポンプ(C)により、高電導度廃液系サンプ(C)の水を移送できているため、廃液処理に影響はない。	GⅢ	11月12日
4	3・4号廃棄物処理設備	点検中の焼却設備において、空気予熱器出口温度指示調節計(G81-TIC007)の計器ディスプレイに入力断線エラーが表示されていることが認められたため、当該出口温度指示調節計を点検・修理。	GⅢ	11月14日